

のぞみんごう

2021年5月
令和3年春号

総合リハビリテーションセンター
救護施設 のぞみの家

〒651-2181 神戸市西区曙町1070
TEL (078) 927-2727



総合リハビリテーションセンター
福祉管理部長兼のぞみの家所長

植田 勝明
う え だ か つ あ き

ごあいさつ

令和3年4月1日から救護施設「のぞみの家」所長に就任いたしました植田勝明と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、救護施設は、生活保護法に基づき、身体や精神の障害を持ち、経済的な問題も含めて日常生活を送ることが困難な方々を受け入れ、可能な限りの生活自立や社会的自立を目指して、生活上の支援や介護を行っている施設です。

「のぞみの家」は、昭和27年11月に県立玉津寮「救護の家」として開設後、昭和45年2月に「救護の家」を「のぞみの家」に改称し、平成5年12月移転改築、平成21年4月には県立から事業団立に移管され、今日に到っています。

現在、「のぞみの家」では、入所者に対する個別支援プログラムに基づき、日常生活自立、社会生活自立の支援として、施設内作業、各種クラブ活動、脳トレ、音楽療法、アニマルセラピーなどの訓練を行い、ステップアップできる入所者には、居宅生活訓練（入所者が地域で自立した生活をおくるための訓練）を受けてもらうなど、個々に応じた地域移行支援を実施しています。今年度からは、居宅生活訓練事業の定員を3名から6名に倍増し、さらに入所者の地域移行をすすめているところです。

昨年度は、コロナ禍の中、面会制限や一部の事業の中止だけでなく、地域の方々との交流がほとんど出来ませんでした。今年度は、感染予防対策や感染発生時の適切な対応を図り、入所者へのサービス提供を低下させない取り組みを、社会状況を踏まえながら可能な限りすすめるとともに、策定が義務化された業務継続計画（感染症、災害）にも積極的に取り組んでまいります。

◇令和3年度 自治会役員の紹介◇



会長
木下恵子さん

書記
岡田奈生子さん

副会長
大道武雄さん

会計
吉田まきゑさん



今年度の自治会会長になりました、木下恵子です。
皆で力を合わせて、元気で楽しいのぞみの家を目指したいと思います！
一年間よろしくお願いします！



令和3年お花見



《例年より早くきれいに咲きました。》



※感染対策には十分配慮して撮影をしています。

☆音楽セラピーについて☆



『音楽で一つになる』

のぞみの家では、たくさんのボランティアの方々にご協力いただき、利用者様の施設生活を豊かにし、よりよい環境を作り上げのご支援をいただいております。

その中でも、今回は音楽セラピーのボランティアをされている、音楽療法士・大串智恵様について紹介したいと思います。

大串智恵様は20年以上前に特別養護老人ホームを訪れ歌の伴奏をしたとき、利用者様の表情が見る見る変わることに関心したのが、音楽療法を志すきっかけだったそうです。

最近は介護予防教室で指導する機会が増えており、認知症の進行を少しでも遅らせるため音楽療法を活用しています。

歌を楽しみながら脳機能を鍛えることもしています。懐かしい童謡や唱歌を歌いながら、リズムに合わせてグーチョキパーを作ったり、曲のフレーズごとに皆で振りを考えて、歌いながら体を動かして短期記憶を鍛える方法もあります。

のぞみの家の音楽セラピーもかれこれ11年になりました。たくさんの思い出はありますが、精神的に沈んでいる方は気分が元気になるたり、逆にテンションが高い方が音楽によって心が落ち着いたり、両方の効果と魅力を感じます。まさしく音楽で一つになることを実感していると話されました。

いつもありがとうございます。今後ともよろしくお願いします。

のぞみの家 利用者・スタッフ一同



《みんなで音楽療法》



《認知症予防に》



《気分転換に》



《大串先生の指導の様子》

☆いきいきクラブについて☆

昨年より開始した「いきいきクラブ」は、高齢・重度化された方の離床時間を延ばし、健康的に過ごして頂けるようにしていくことを目的としています。

最初に体操を行い、適度に体を動かした後は、音楽鑑賞や壁画制作、ゲームなどを行い、利用者様が楽しめる活動を提供しています。時には屋外散歩を行い、季節の変化を体感することで生活に潤いを感じて頂けるようにしています。



《何ができるかな?》



《散歩&ひなたぼっこ》

令和3年度 のぞみの家主要行事予定表

予定月日	行事名
4月	お花見(茶話会)
5月	家庭連絡会
	避難訓練(日中想定)
	春の健康診断
6月	日帰り旅行(1班)
7月	音楽療法講座
	施設運営協議会
	施設内消毒
	日帰り旅行(2班)
8月	センター盆踊り大会
	秋の健康診断
9月	日帰り旅行(3班)
	地域交流観月会
10月	夜間想定避難訓練
	日帰り旅行(4班)
11月	収穫祭
	日帰り旅行(5班)
	ワックスがけ
	避難訓練(夜間想定)
12月	年忘れ会
1月	非常食提供訓練
2月	総合防災訓練
	節分会



《七夕の飾り楽しいよ!》



《たくさん収穫出来たよ!》



《楽しいお買い物!》



《お誕生日おめでとう!》



《美味しそうなケーキ》



《大きな金棒だ!》



《みんな真剣に訓練しています》

茶話会・全体の話し合い…毎月

感染症対策の為、行事は、参加人数の検討、座席配置、換気、マスク着用、手洗い、実施時間に配慮して実施する。

なお、感染予防の観点から、対策を講じられない行事などは中止する。

技能実習生

◎外国人技能実習制度とは◎

日本企業が発展途上国の若者を技能実習生として受け入れ、実務を通じて習得した技術や知識を母国の経済発展に役立てることを目的にした公的制度です。

◇技能実習生の紹介◇

今年の1月からベトナムから3名の技能実習生を受け入れています。左からファン・ヴォン・ティン・トゥエンさん(1月～)、トン・ティ・ラン・チンさん、グエン・ティ・ズイエンさん(2月～)がのぞみの家で働いています。

3人で共同生活をされている皆さんに、

①ベトナムのどこの出身ですか？何が有名ですか？ ②趣味は何ですか？ ③日本での生活はどうか？と、お聞きしました。

トゥエンさん

- ①ベトナムのニャチャンの出身です。料理や観光地が有名です。
- ②旅行が好きです。食べることも大好きです。
- ③日本の生活は面白くてにぎやかで便利です。特にマンションと職場が楽しいです。わからないことは皆さんに聞きます。職員の皆さんがとても優しく色々なことを教えてくださいました。



《辞令交付式の様子》

チンさん

- ①ベトナムのハイフオンの出身です。食べ物では「Banh Da Cua (バンダークア)」が一番有名です。他にもたくさん観光地があり、ベトナム建国に関する地区などがあります。
- ②旅行することです。
- ③日本は発展した国で交通が便利です。でも物価は高いです。



《楽しい歓迎会の様子》

ズイエンさん

- ①ベトナムのタイピンの出身です。ベトナムは色々な所がきれいです。例えばケオ・パコダなどの寺院が綺麗です。
- ②音楽を聴くことです。
- ③楽しいし、面白いです。甘い物が好きなので日本の料理は大丈夫です。日本の生活にも慣れました。

★ 職場の仲間として、これからもよろしくお願いします！！



《日々の様子》

《日本語教室の様子》

新 任 職 員 の 紹 介



看護師
小野 和美
おの かずみ

はじめまして、4月からのぞみの家でお世話になります、看護師の小野です。3月に定年を迎え、再雇用でのぞみの家に務めることになりました。定年後の楽しみとして城100選を巡ろうと思っていますが、この時期ですので保留中です。性格はおおざっぱ（笑）利用者様が笑顔で元気で過ごせるよう健康管理していきたいと思います。



支援員
中山 稔基
なかやま としき

はじめまして、4月からのぞみの家でお世話になります、中山です。大学を卒業して社会人1年目となります。小学校から大学まで野球をしてきました。スポーツ全般好きですが、特に野球のお話は弾むと思います。まだ分からないことが多いですが、色々皆さんとお話させてもらいたいです。今後ともよろしくお願いします。



支援員
禰宜田 昇太郎
ねぎた しょうたろう

はじめまして、4月からのぞみの家でお世話になります。禰宜田昇太郎です。洲本市のくにうみの里から異動してきました。2年間、そこで勤務していました。ご迷惑をおかけすると思いますが、色々吸収していきたいと思っていますので、よろしくお願いします。



支援員
有吉 陸
ありよし りく

みなさんはじめまして、4月からのぞみの家でお世話になります、有吉陸（ありよしりく）です。事務局人事管理課から異動になりました。出身は大阪府大阪市です。趣味は料理と楽器演奏です。料理は一人暮らしをはじめた大学時代からはじめて、最近はキムチを自分で作りました。楽器は今ギターを練習中です。小学校時代はバイオリンとお琴が弾けました。皆さんよろしくお祈りします。

管理栄養士だより

新型コロナやインフルエンザなどの感染症予防のための食事について

のぞみの家 管理栄養士 道本 智晴

WHO（世界保健機関）が新型コロナのパンデミックを宣言し、感染再拡大が現実となる中、「予防にはこれが効く」「これを食べるとよい」などという情報に踊らされ、ついににかに飛びつきたくなるかもしれません。しかしながら、食事に関しても、これさえとればよいというような“特効薬的な栄養素”があるわけではありません。

栄養バランスの良い食事こそが、有効な対策といえます。

必要な栄養素が充分にとれて、バランスのよい食事にするには「主食＋主菜＋副菜」をそろえた食事をとることから始まります。

食べ過ぎや栄養の偏りを防ぐことにも繋がりますので、日々の食生活で、バランスよく栄養素がとれているか見直してみましょう。

◎感染症に負けない食事のポイント◎

- ①エネルギーをしっかりとる（肺炎は高熱が出るなど多量のエネルギーを消費するため）
- ②たんぱく質をしっかりとる（ウイルス感染防御に多量のたんぱく質を消費するため）
- ③ビタミン等をしっかりとる（ウイルス感染防御に十分なビタミン等が必要なため）

医務室だより

心とからだのバランスがくずれていませんか？

感染症の拡大により普段と同じような生活が送れない今、眠れない・イライラする・意欲が出ないなどの症状はないですか？

ちょっと立ち止まって深呼吸してみましょう。

テレビなどの情報から離れる時間を作りましょう
家族や友人に連絡をしてみましょう
眠れないときは、誰かに相談しましょう
好きなことをしましょう
からだを動かしましょう



健康を守るために…今できることを実践してみましょう

通所事業

通所事業 利用者 川本 和弘

のぞみの家を平成30年7月に退所され、単身生活を開始されました。



9月1日からのぞみの家の通所事業を利用されています。

毎週月・水・金曜日の午前中、のぞみの家の窓清掃や中庭の清掃をしています。

のぞみの家入所前にも単身生活の経験がありましたが、今回は、長く生活できるよう頑張っておられます。単身生活に必要なことに健康管理や金銭管理などがあります。中でも毎日の食事は、健康維持に大きな役割があります。お仕事で料理経験もあってのことか食材の準備、調理もきちんとされています。1か月に1度の住宅訪問時にはいつも、室内は片付いており、寝具類を干すなど規則正しい生活を心がけておられます。

通所担当者 宮原典子

居宅生活訓練事業

居宅生活訓練事業では金銭管理や調理訓練だけでなく、公共交通機関を利用した外出訓練もおこないます。利用者Aさんは単独受診に向け、まずはバスと電車を利用し受診先の病院までの外出訓練をしました。

その後、実際に単独受診を繰り返し、無事に目的地の病院まで行けるようになりました。また、受診の手続きや、薬の受け渡しなど練習することでステップアップを図っています。



《単独で交通機関を利用している様子》

セラピスト派遣事業

今年度のセラピスト派遣事業は、当法人の地域支援課から理学療法士をお迎えして、利用者様のリハビリメニューの見直しや、介助方法についての研修を行っていただきました。

特に、今年度は外国人技能実習生の方がのぞみの家に来られたこともあり、研修については、介助技能の基礎である“移乗介助”について学ばせていただきました。

外国人技能実習生だけでなく、他の職員についても、「定期的に基礎を学ぶことの重要性を感じた」「初めて知った技術もあった」という声もありました。今後も基礎を忘れず、事故や怪我のない施設を目指していきます。



《介助方法の研修の様子》

令和3年度新規等事業計画

令和3年度の救護施設「のぞみの家」に係る新規等事業は次のとおりです。

1 地域移行の推進

のぞみの家では、平成19年度から入所者の地域移行を促進するため、居宅生活訓練事業を実施してまいりました。この度、令和2年度から実施している地域生活移行プログラムの充実と併せて、令和3年度から居宅生活訓練事業の定員を3名から6名に拡大し、さらなる地域移行の推進を図ります。

■居宅生活訓練事業拡充の内容

- ①訓練対象者を3名から6名へ拡大する。
- ②訓練期間を前期・後期などに分け、利用者の心身の状況に応じた訓練を実施する。

2 大規模修繕に向けた計画的な取り組み

のぞみの家は、平成5年12月に移転改築した後、平成27年9月に居室の洋室化、トイレ改修などの工事を行いました。しかし、平成5年の移転改築から28年の歳月が経つことから、外壁補修、電気・消防設備の更新、浴室改修などの工事を行う必要があることから、令和5年度の大規模修繕の施工に向けて計画的に準備を進めてまいります。

■「のぞみの家」の経緯

昭和27年11月 県立玉津寮「救護の家」として開設
平成5年12月 移転改築
平成27年9月 居室の洋室化、トイレ改修工事

3 ウイズコロナの時代に適合した施設運営

感染予防対策や感染発生時の適切な対応を図るとともに、入所者へのサービス提供を低下させない取り組みを、社会状況を踏まえながら可能な限り進めてまいります。

(1) 施設内感染対策の実施

入館時に検温チェックと手洗い、消毒の徹底を図る。

(2) WEBの活用

- ア WEB研修会の受講などをつうじて、感染症対応等の知識を深める。
イ 感染予防の観点から、入所希望者の施設内見学を、動画で館内紹介を実施する。
ウ 面会の再開や中止などについて、迅速にホームページなどを通じて周知する。
エ WEB面会を実施する。
オ 兵庫県新型コロナ追跡システムを活用する。

(3) 入所前の抗原（PCR）検査の実施

(4) 感染症予防対策及び感染発生時の適切な対応

- ア 予防対策研修を実施する。
イ 感染症発生時のマニュアルの周知・活用（シュミレーション訓練の実施）を行う。

(5) 施設行事への対応

参加人数の検討、座席配置、換気、マスク着用、手洗い、実施時間に配慮して実施する。

(6) 通所事業への対応

コロナの影響で通所利用者が利用を控えた際に、在宅における健康管理、相談等の支援が提供できる体制を整える。

編集後記

You'll never find a rainbow if you're looking down.
「下を向いていたら、虹を見つけることはできないよ」
(チャールズ・チャップリン)

長い人生の中でこの言葉が生きてはたくさんあると思いますが、昨年から続くコロナでの状況では特に必要な言葉だと感じます。

辛い経験をしたからこそ、ネガティブな気持ちにならず上を向いて希望を見つけ、この困難な時代を乗り越えていきたいものです。

皆様が希望に溢れる一年になることを願っています。

編集委員一同

コロナには
負けません!

※65歳以上(平日)
1泊2食6,800円~

観音の湯

浜坂温泉保養荘

〒669-6702 兵庫県美方郡新温泉町浜坂775

☎0796-82-3645まで